

学力等の実態

1 目的

平成15年4月下旬から5月上旬にかけて実施した「大阪府学力等実態調査」及び「児童生徒支援加配配置校学力等実態調査」の結果を活用して、人権教育の一環としての同和教育を推進するため、平成12年度の大阪府「同和問題の解決に向けた実態等調査」の対象地域に居住する公立小学校6年生及び公立中学校3年生の学力等の実態を分析し、その学力等の実態を把握し、今後の府の教育施策の改善に資する。

2 対象

「同和問題の解決に向けた実態等調査(平成12年度)」の対象地域に居住する公立小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒(以下「対象校」と記す)

3 内容

(1) 「学力実態調査」(以下、学力調査)

小学校第6学年 国語・算数のA調査

中学校第3学年 国語・数学・英語のA調査

所要時間：小学校45分、中学校50分

(2) 「生活に関するアンケート調査」(以下、生活調査)

上記の学力調査の調査対象児童生徒を対象とする。

所用時間：小学校45分、中学校50分

(3) 「5日制等に関する保護者調査」(以下、保護者調査)

上記の学力調査の調査対象児童生徒の保護者を対象とする。

学校は実施日を決め、児童生徒を介して配布・回収する。

(4) 「学校調査Ⅰ(学力実態調査用)」(以下、学校調査Ⅰ)、

「学校調査Ⅱ(5日制調査)」(以下、学校調査Ⅱ)

上記の学力調査の調査対象校

4 対象児童生徒数等

調査内容	小学校6年生		中学校3年生	
	対象者数(人)	有効者数(人)	対象者数(人)	有効者数(人)
学力A調査、生活調査、保護者調査	462	444	480	415

※有効者数とは学力A調査、生活調査、保護者調査をすべて受けた者の数

5 語句説明

(1) 設定通過率

学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけ、学習指導要領作成時に想定された学習活動が行われた場合、個々の問題ごとに正答、準正答の割合の合計である通過率がどの程度になると考えられるかを示した数値である。(国立教育政策研究所・教育課程研究センター「平成13年度小中学校教育課程実施状況調査 報告書」より)

(2) 学校週5日制

学校週5日制の表記について、目次の見出し等以外の本文中では、「5日制」と略して記述する。